

# 平成26年度和歌山県文化奨励賞

いしぐろ さやか  
石黒 晶

住 所 大阪府大阪市  
出身地 和歌山県和歌山市  
生 年 昭和29年

## ◎ 業績及び経歴

昭和29年和歌山市に生まれる。東京藝術大学音楽学部作曲専攻を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程を修了する。修了作品は東京藝術大学が買い上げている。大学院時代に沖縄音楽を素材として作曲した「三つの沖縄の歌」(カメラータ・トウキョウ)や、続く「宮古島の二つの歌謡」(マザーアース)で創作・発表活動を開始した。

これまでに発表した作品は、二期会週間、JCD A合唱の祭典、コーラスめっせ、おかあさんコーラス全国大会、こどもコーラス・フェスティバルをはじめ、国内外で演奏されている。

近年の合唱作品は「ハッシャバイ・ソングス」、(音楽之友社)、「わらべうたのカタログ」(カワイ出版)、「一日巡り」(歌おうNIPPONプロジェクト)等におさめられ、CDに「であるとあるで 石黒晶女声合唱作品集」(Giovanni)他がある。

和歌山の民族素材を用いた“紀州三部作”もあり、「紀州うた拍子」(カワイ出版)「紀伊のこどものうた遊び」に続く「紀伊の国のうた拍子」は平成18年朝日作曲賞佳作を受賞した。

最近では平成25年に日本を代表するプロ合唱団である東京混声合唱団により「愛のうた 恋のうた」が委嘱初演され、さらに5年の歳月をかけて作曲したHi's Opera Company委嘱のオペラ「みすゞ」が平成26年1月に新国立劇場で初演され、音楽誌上でも高い評価を受けた。今秋日本屈指のハーピスト木村茉莉氏により最新作「琴華」が初演される。

現在、神戸女学院大学音楽学部教授を務めているほか、NHK合唱コンクールや全日本合唱連盟等、各地の審査員を務め、後進の育成指導にも尽力しており、氏の作曲家としての活動には、今後もより一層の期待が寄せられている。

## ■ 現 在

神戸女学院大学音楽学部教授

## ◆ 主な表彰歴等

- 昭和57年 東京藝術大学大学院修了作品を同大学買い上げ「三つの沖縄民謡」
- 昭和61年 第10回神奈川芸術祭合唱コンクール入選「きいろいふうせん」
- 平成18年 第17回朝日作曲賞(佳作入賞)「紀伊の国のうた拍子」
- 平成19年 第34回ガイド・ダレッツォ国際作曲コンクール入賞「A Song of a Weaving Shed - From the Ballad of Miyako Island, for mixed choir with three instruments」
- 平成21年 第16回旧東京音楽学校奏楽堂日本歌曲作曲コンクール入賞「これが私の優しさです」